



議会だより



新一年生

吹浦小学校



遊佐小学校



藤崎小学校



高瀬小学校



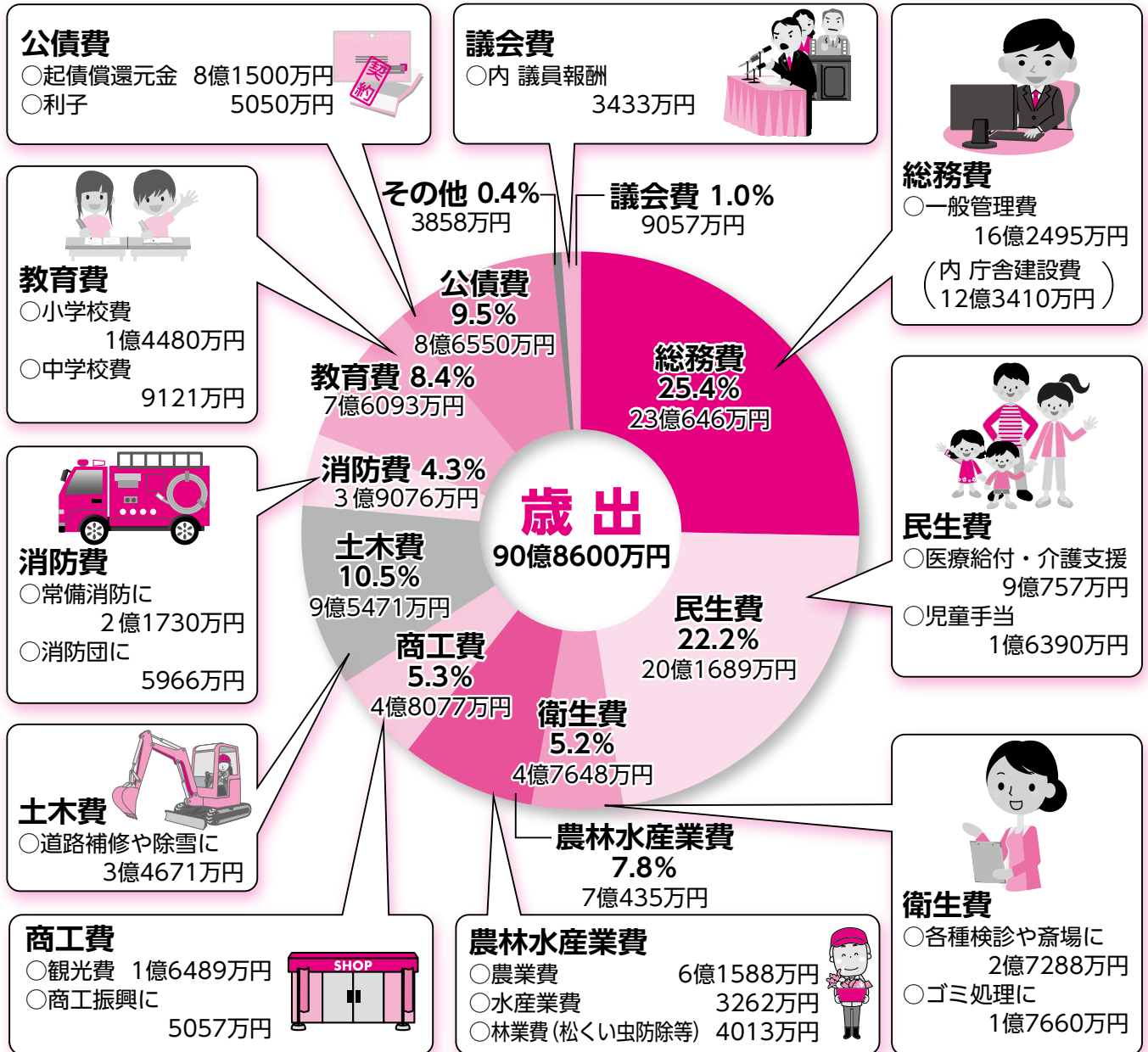
蕨岡小学校



庁舎建設

12億3410万円を見込む

実施設計と庁舎建設の事業費16億2268万円に対し14億6030万円を起債。起債に対する国からの補填を除いた10億9550万円は、今後30年かけて償還していく。



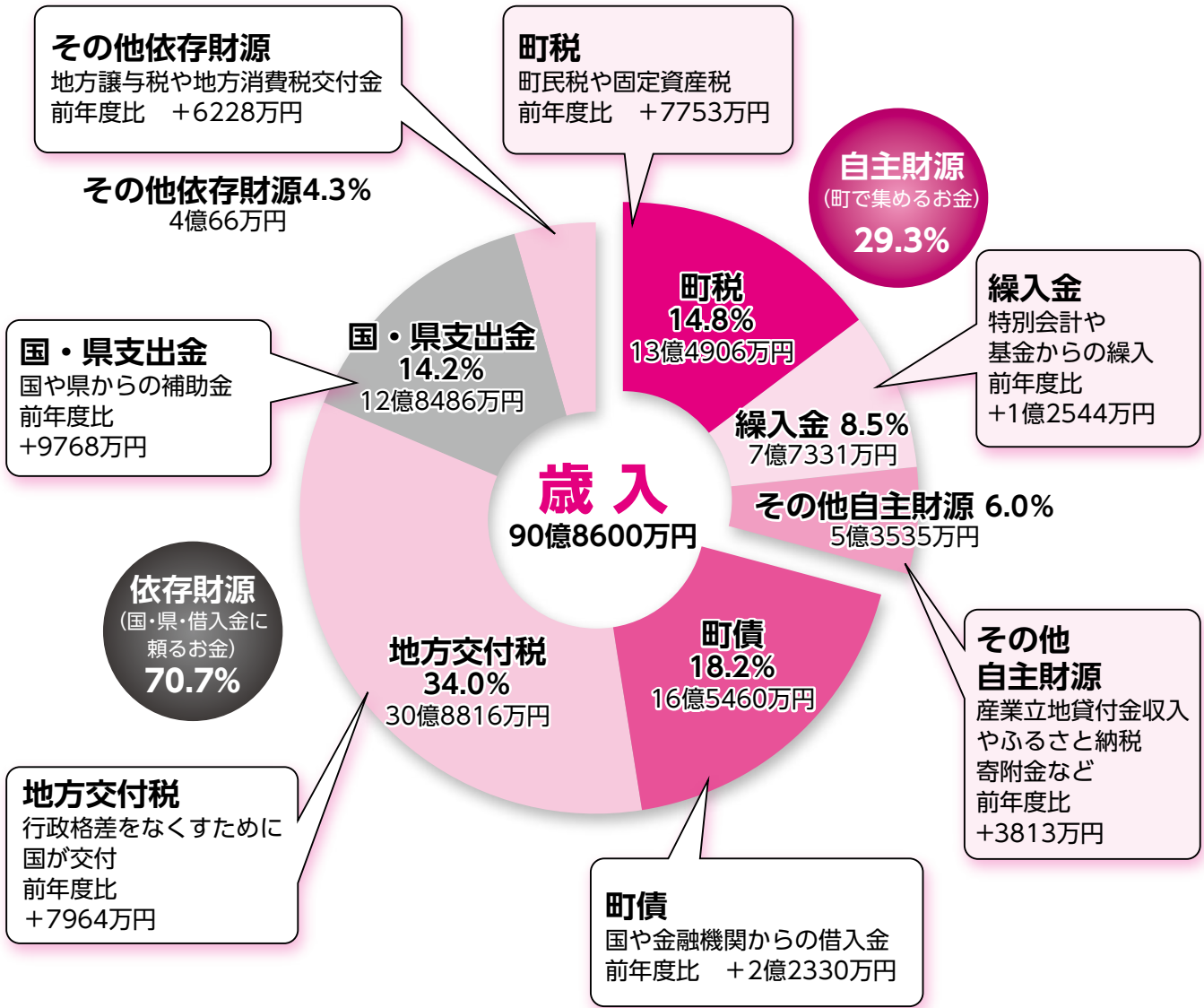
令和2年度各種会計予算

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計				
			国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
予算額	90億8600万円	43億2520万円	14億8200万円	19億3300万円	1億9420万円	6億2300万円	9300万円
前年度比	+7億400万円	-1億4180万円	-300万円	+1700万円	+2320万円	-1億7300万円	-600万円

これまでの最高 平成9年度に迫る大型予算

各課の予算要求が、元年度より6～7億円ほど多いため、10%カットから予算編成にあたったとのことだが、一般会計では元年度より7億400万円多い90億8600万円という平成9年度予算（91億5100万円）に迫る大型予算となった。国からの「働き方改革」により、人件費が多くかかることもあるが、何より新庁舎建設が大きく影響した。新型コロナウイルスによる今の情勢では建設費の増高が気にかかる。

予算審査
一般質問
意見書
中間報告
補正予算審査
採決結果
議会運営
遊佐人
議会クイズ



水道事業会計 (収益的収入及び支出)

会計区分	収入	支出
予算額	4億187万円	3億7646万円
前年度比	-4450万円	-5927万円

町債の推移 (一般会計)

※国からの地方交付税により充当されるものを含む

	地方債残高	償還額
28年度	81億1176万円	7億3965万円
29年度	81億3612万円	8億8323万円
30年度	81億4884万円	6億8518万円
元年度 (見込み)	89億1739万円	7億2873万円
2年度 (見込み)	97億7308万円	7億9891万円



委員長 菅原 和幸
副委員長 佐藤 光保

令和2年度予算質疑

予算審査特別委員会 3月12日・13日

令和2年度の一般会計予算と特別会計予算5件、水道事業会計予算1件を原案のとおり可決。

予算審査

一般質問

意見書

中間報告

補正予算審査

採決結果

議会運営

遊佐 人

議会ライブ

新たに始まる町税等の収納制度とは

本間 知広 委員

問 令和2年度の施政方針に「2年度からは、郵便局での窓口収納とコンビニ収納を始めます。」とあるが、具体的にどのような制度なのか。

またその制度により、どのような利便性が考えられるのか。

町民課長

答 今後、町税等（町税、月光川水害予防組合費、保険料、水道料、保育料、住宅使用料）の納付については、従来の納付方法に加えてコンビニ納付（全国の契約コンビニ）、郵便局（簡易郵便局含む）での窓口納付（東北管内）が可能になり、現在より窓口数が多くなり窓口納付の利便性は向上する。

大事業をひかえ職員配置は

高橋 冠治 委員

問 令和2年4月から臨

時職員等にかわり会計年度任用職員制度が施行され、待遇も改善される。一方、町職員は業務量に対し恒常的に足りない。今後大きな事業をひかえ業務内容の改善は。

総務課長

答 地方公務員法の改正により会計年度任用職員制度に移行することにもない、会計年度任用職員が一般職の地方公務員として明確に整理されたことから、ある程度町職員の業務をカバーできるのではないかと考えている。

また、今後想定される大型事業については、令和2年度より「PAT整備推



コンビニ・郵便局でも納付できます

進室」を立上げ対応するなど、適宜人員の配置を検討していく。

※PATとは、パーキングエリアタウンの略。高速道路へ休憩施設として、新たな「道の駅」を町で検討している。

「計画行政」は本当か

齋藤 武 委員

問 複数年計画で整備中の町道杉沢本線の舗装工事費と、畑西線の改良工事費が、担当課の要求額から大きく削減された。理由が不明瞭であり、

時田町政がかかげる「計画行政」に反するのではないか。

総務課長

答 当初予算の編成に当っては、極めて厳しい経済情勢のなか、必要なサービスを提供できるよう財源を確保し、町民の安全・安心と地域経済を支えていくという基本的な考えのもと、これから始まる制度や大型事業等を念頭に置きつつ、通常経費の10%削減をめざし、事業についてもその効果をもう一度確認しながら、予算編成に当たっていることを理解願いたい。

I・J・Uターン 促進事業は

佐藤俊太郎 委員

問 少子化による町の人口減少対策の一環であるI・J・Uターン事業で、これまでの成果と今後、人口増のための新たな施策は。

答 令和元年度の町内への移住実績は、2月末現在で13組31人となっている。

インターエンジの名称は

赤塚 英一 委員

問 日沿道の開通予定が公表となった。これに合わせてパーキングエリアタウンの計画も進めなければならぬが、インターチェンジ（以下「IC」）の名称はどのようになっているのか。

企画課長

答 酒田河川国道事務所からの情報提供では、ICの名称は原則として所在する市町村名の後にIC等を付すなどのルールがある。

そのため、過去の議会
で名称案の公募を検討す
るとしていたが、公募は
取りやめることとなった。
国交省よりIC名称案
の意見照会があるとのこ
となので、これまで仮称
で使用してきた町民に馴
染みのある名称を求めて
いきたい。

公園再整備計画とは

那須 正幸 委員

圃 平成25年から公園の
遊具整備を行い令和2年



鳥海山をキャンパスに遊ぶ
(下野沢やすらぎ公園)

度では1450万円の工
事となり最終年度となる
遊具の管理体制とケガ
をした時の補償はどこの
管轄になるのか。

地域生活課長

圃 公園再整備計画に基
づき、これまで「遊ぼっ
と」等の遊具整備を行っ
てきた。最終年度となる
令和2年度は、「下野沢
やすらぎ公園」のブラン
コ・ジャングルジム・鉄
棒等の更新をする。
遊具は定期的に点検を
実施しており、ケガ等の

対応については、「全国
町村会総合賠償保障保
険」に加入している。

給食費の値上げは

佐藤 光保 委員

圃 令和2年度から給食
費を、小学校は10円、中
学校は20円の値上げで保
護者の負担が増加する。
令和元年10月の消費税
引上げに加え、新型コロナ
ナウイルスにより町民が
苦難に直面しているとき
これに寄り添うべきでは
ないか。

教育課長

圃 給食費は、材料代の
みの負担で平成26年度か
ら現在の価格を維持して
きた。食材等の値上げに
より、このままでは摂取
すべき栄養価を確保でき
ないとの判断で止むを得
ず値上げとなった。
経済的に負担が困難な
家庭には、就学援助とい
う制度もあるため、値上
げ分を町で補てんするこ
とは考えていない。

岩ガキの増殖を

阿部 満吉 委員

圃 岩ガキを筆頭に磯も
の資源は危機的状況を
むかえている。
令和2年度予算におけ
る、漁業後継者を含めた
水産業の支援で、岩ガキ
増殖礁設置と藻場再生事
業の内容は。

産業課長

圃 岩ガキの増殖礁は、
滝ノ浦集落と女鹿集落の
境界付近の海岸線に、20
tの消波ブロック200
個以上を設置する。
藻場造成事業は、女鹿
集落北端の海岸線に、消
波ブロックと生物共生型
ブロックを配置し、磯焼
け対策としてアカモク等
の再生を促すものである。
※生物共生型ブロック：石灰灰
等を練りこんで、海藻などを増
殖させるブロック。



**合併浄化槽設置
補助金**

斎藤弥志夫 委員

圃 合併浄化槽設置の際、
他の市町と同じくらいの
補助金を出しているが、
設置率がかなり低い。
設置率向上のために目
新しい対策が必要である。

地域生活課長

圃 合併浄化槽設置の対
象集落は20集落となつて
おり、平成31年3月末現
在の設置率は、37・4%
となっている。補助金は、
5人槽の場合、74万
4000円、7人槽の場
合、93万2000円交付
される。
今後も対象者に補助金
制度をお知らせし、設置
率の向上を図りたい。



岩ガキ増殖に期待

一般質問 11議員登壇

3月5日・6日

町の事業と課題を問う

予算審査
一般質問
意見書
中間報告
補正予算審査
採決結果
議会運営
遊佐人
議会フイズ

紙面の都合上、掲載できなかった質問は、議会ホームページの議会録画をご覧ください。

(通告順)

- 齋藤 武 議員 P 6
- 入札情報を分かりやすく公表せよ
- 高橋 冠治 議員 P 7
- 小学校統合 予算規模を示し計画を
- 那須 正幸 議員 P 7
- 月光川河口域の災害対策は
- 菅原 和幸 議員 P 8
- 遊佐P A T計画策定を早期に
- 赤塚 英一 議員 P 8
- 遊佐高等学校の存続 方策と考えは
- 齋藤弥志夫 議員 P 9
- スポーツ広場を花公園に

- 佐藤 光保 議員 P 9
- ジェンダーの平等を推進せよ
- 松永 裕美 議員 P 10
- 事故防止に有効な「後付け安全装置」を
- 本間 知広 議員 P 10
- 今後の大型事業 財政の具体的な方策は
- 佐藤俊太郎 議員 P 11
- 消防団の処遇は
- 阿部 満吉 議員 P 11
- 河原宿に避難小屋整備を

一般質問とは…町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

入札結果 8月分

総務課	<p>●事務用PC 期間 令和元/8/8～令和元/9/20 契約金額 1,931,040円</p> <p>●事務用PC用マクロソフト・オフィスPro30本 期間 令和元/8/8～令和元/9/20 契約金額 1,582,740円</p> <p>●その他の入札参加者 NECネットエスアイ株式会社山形営業所、株式会社管理システム、株式会社コム酒田支店</p> <p>●その他の入札参加者 NECネットエスアイ株式会社山形営業所、株式会社コム酒田支店、山形サンダー株式会社酒田支店</p> <p>●令和元年度管理地区防火水槽整備工事 期間 令和元/8/28～令和元/12/25 契約金額 7,150,000円</p> <p>●令和元年度管理地区防火水槽整備工事 期間 令和元/8/28～令和元/12/25 契約金額 7,150,000円</p> <p>●小規模ポンプ整備事業 期間 令和元/8/28～令和2/3/23 契約金額 3,454,000円</p> <p>●小規模ポンプ付軽軌車整備事業 期間 令和元/8/28～令和2/3/23 契約金額 10,693,992円</p>
地域生活課	<p>●令和元年度遊佐特定環境保全公共下水道マンホールポンプ設置工事(その1) 期間 令和元/8/16～令和元/12/10 契約金額 14,800,500円</p> <p>●令和元年度遊佐特定環境保全公共下水道マンホールポンプ設置工事(その2) 期間 令和元/8/16～令和元/12/10 契約金額 16,720,000円</p> <p>●町道大橋北線舗装補修工事 期間 令和元/8/30～令和元/11/15 契約金額 29,315,000円</p> <p>●令和元年度徳長寿命化修繕計画事業(大規模更新)広域地下部工事 期間 効力発生の日～令和2/3/31 契約金額 59,950,000円</p>

広報おしらせ号(令和元年9月15日発行)

町の公表のあり方は、他市町の例を参考にしながら、町民のニーズやこれまでの取り組みを検証し、指名審査会等で検討していきたいと考えている。

令和2年5月1日

たその際、国は透明性向
義務付けられている。また、十分とは言えない。町長は令和2年度の施

入札情報の公表は、入札執行を事後検証するためにも必要である。公共工事などの入札では、入札参加者ごとの入札金額など「入札の経過」は入札適正化法で公表が義務付けられている。またその際、国は透明性向義務付けられている。また、十分とは言えない。町長は令和2年度の施



さいとう たけし 齋藤 武 議員

町長

公表は広報及びホームページで

入札情報を
分かりやすく公表せよ

政方針で「情報の公開と共有を基本に」したいと述べている。直ちにこの通りに実践すべきではないか。

〔その他の質問〕
臂曲地区の岩石採取控訴審と水循環の保全

(6)

園 統合小学校開校にともなう予算規模について、町は詳細な数字は出していない。開校にあたっては5教室足りず、その増設工事でも約2億円必要とされる。加えて駐車場用地の買収・給食室等の

どのような事業でも計



たかはし かんじ
高橋 冠治 議員



開校準備委員会の協議に基づき計画

小学校統合 予算規模を示し計画を



増設工事予定地（遊佐小学校）

画と予算審議は同時進行で議論して行くべきであり、予算規模を示さず計画だけが先行してきたのはなぜか。
(その他の質問)
全線開通見通しによる遊佐PAT計画は

町長 町立学校適正整備審議会では、1小学校に統合する時期とその際に配慮すべき付帯事項であり予算面の審議までは含まれていない。そのため、審議会からの答申を受け、整備方針決定後に担当課で予算面における大枠の算定を行っている。

学校の施設整備については今なお開校準備委員会において協議中であり、大まかな金額しか出ていないが、振興計画における第4期実施計画に基づく令和2年度から3カ年の総額は、3億8730万円となっている。これに対する財源は、義務教育施設整備基金や国庫補助金、町債等でまかなう予定である。

月光川河口域の災害対策は



まさゆき すすぬま
須正 議員



強制排水設備を検討

園 月光川河口と旧漁協付近の土砂の堆積がかなり増えている。津波が押し寄せた時、堆積により水位が嵩増しになる恐れがある。
県への堆積土砂の浚渫

要請と計画はどうなっているのかという住民の声がある。
豪雨などで川が増水した時に、吹浦都市下水路の水門が閉鎖され町内に雨水が溜り、道路や建物

浸水につながる恐れがある。
都市下水路にはポンプなどの強制排水設備は備わっているのか、確認と今後の対応は。
(その他の質問)
観光施設の計画的な管理と運営を

町長 近年の大規模災害の多発に対し国や県・市町村では、国土強靱化計画を策定しており、町でも着手している。
吹浦都市下水路の水門管理は、元町の集落区長・消防団員により構成されている「吹浦都市下水路水門操作協力会」に協力を依頼し対応している。流末は月光川河口となっているが、自然流下方式のため、ポンプによる強制排水設備の必要性について検討したい。

月光川河口の堆積土砂については、管理者である山形県へ浚渫要望をしていきたい。

※浚渫(しゅんせつ)：海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること

西浜橋下流の堆積土砂





遊佐町民スポーツ広場（昭和55年1月竣工）

スポーツ広場を花公園に



お 志 夫 志 夫 議員
さいとう や し お 夫 議員



既存施設を
魅力ある公園に再整備

日沿道の酒田みなと・(仮)遊佐比子5.5kmが令和2年内に開通の見通しとなった。県内には村山市東沢バラ公園、川西町ダリア園、長井市あやめ公園など全国的に

有名な植物園・花公園があるが、町にはそのような公園は見受けられない。高速道路ネットワークが観光振興を支えるもので、(仮)遊佐比子インター問近にあるスポーツ

広場1.1haを花公園に整備し直すことで、「うるおいと安らぎのある町」を演出することができると考える。

〈その他の質問〉
プレミアム付商品券の購入

町長 地域生活課では、平成25年3月に策定した都市公園・河川公園再整備計画に基づき、都市公園5カ所、河川公園5カ所を管理している。これらについては、順次遊具等の再整備を実施しており、令和2年度に下野沢やすらぎ公園の再整備で計画完了となる。

このほか、産業課が管理する農村公園が5カ所、健康福祉課が管理する児童遊園地が3カ所、教育課が管理するパノラマパークなどがある。いずれの公園も観光スポットではないが、町民の憩いの場であると思っており、こうした既存の施設を、魅力ある公園とする再整備を順次図っていききたい。

ジェンダーの平等を推進せよ



みつ や す 光 保 議員
さいとう みつ や す 議員



希望に応じた支援を
充実させていく

町長 持続可能な開発目標、SDGsは2015年の国連総会で193カ国の全会一致により採択された国際目標である。紛争や戦争、温暖化、貧富の格差など17の地球規模の課題の中の5番目「ジェンダーの平等を達成する」。

成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う」は、17すべての目標に「ジェンダーの視点」を「ジェンダー平等」はあらゆる問題を解決するうえで欠かせない課題である。

町でも取り組む意義があると思うが。

町長 町では、平成27年度に第2次遊佐町男女共同参画計画「男女（みんな）のプラン」を策定し、ジェンダー平等に取り組んできた。遊佐町総合戦略においても、女性委員の比率を審議会は30%、委員会等は20%という目標数値を設定している。令和元年度における実績は、審議会で29.3%、委員会等では17.2%という数値になっている。

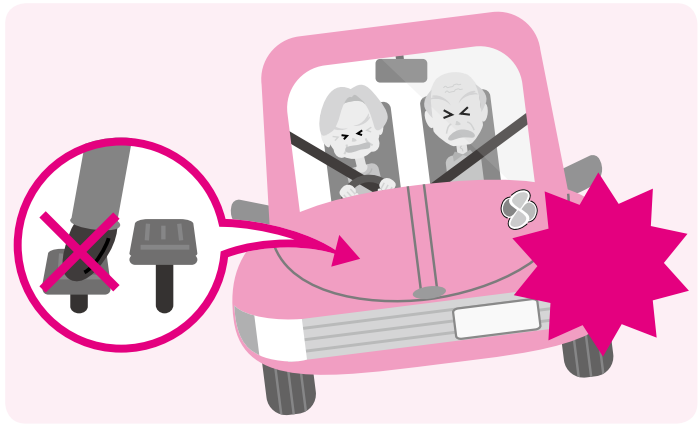
あらゆる分野において女性が活躍できるように、希望に応じたきめ細かな支援を充実させていく必要があると考えており、そうした対応が、政策や方針決定過程への女性の参加促進など、女性が能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりにつながるものと考えている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(エスディージーズ)持続可能な開発目標の略
国連総会で世界の目標として採択
17の大きな目標を掲げている

※ジェンダー…生物学的な性別に対して社会的・文化的につくられる性別。世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別。



高齢者の運転サポートを

事故防止に有効な「後付け安全装置」を



まつなが ゆみ 永裕美 議員 町長

補助のあり方を検討する

高齢になり、いつ自動車運転免許を返納すべきかを多くの町民とその家族が悩んでいる。当町では電車やバス等の交通体制が十分に整備

付けペダル踏み間違い急発進等抑制装置」の取り付けに他市町のような補助をすべきでは。

〈その他の質問〉遊佐方式・町民力育成プログラムの新提案

町長 昨今、高齢運転者による重大交通事故が相次いだことから、行政として交通事故の防止対策が求められていると認識している。

町内における現行の各種公共交通施策については、民間バスの運行がない中、これまでも、デマンドタクシー、福祉タクシー事業を中心に、様々な見直しを行い、必要に応じて新たな制度を設けながら、実施してきた。

踏み間違い防止装置については、各自自動車メーカーでの技術の進歩が目覚ましい分野でもあり、今後の県や他市町村の動向も見ながら、実施する場合、こういった補助が事故防止に有効であるか、さらなる検討をしていきたい。

今後の大型事業 財政の具体的な方策は



ともひろ まへだ 知広 議員 町長

国県補助金を

最大限に活用

町長 平成20年度と30年度の財政状況を比べると町民税を含む地方税の歳入額、基金等の積立額ともに増額になっており、町民一人当たりの負担額は減少してきている。しかし、令和2年1月



パーキングエリアタウン建設予定地周辺

からいよいよ新庁舎の建設工事が始まり、令和2年度からは会計年度任用雇用制度の導入により人件費が増える予定だ。その他にも小学校統合に係る費用やパーキングエリアタウンの計画等大

きな事業も予定されている。それらを踏まえて、今後の財政計画について、具体的な方策はあるのか。

〈その他の質問〉新規就農者に対する情報交換の場を

町長 財政運営は、一定の投資的経費を確保し、町税や基金積み立てなどで自主財源の確保・造成を図りながら、比較的安定的な運営に努めてきた。一方で、一般行政経費などの歳出抑制を図るなど、歳入に見合った財政運営に努めている。

今後の整備事業を見据えた財源確保対策は、主要な自主財源である町税収入の安定的確保に努めることを第一義とし、国の有利起債を含めて国県補助金を最大限活用することも肝要である。

その際、国の経済対策等の情報をとらえ事業化を図るなど、町の一般財源を極力抑える努力も必要と考えている。



消防団員の勇姿

消防団の処遇は



さとうしゅんたろう
佐藤俊太郎
議員



待遇改善を検討

消防団員（特別職）の報酬を変更する際には審議会が設置される。

現在、団員の日当は、火災等の出動一回につき1300円と定められている。参考までに、4時

間未満1800円。4時間以上3000円の例も他町にはある。

平成25年に施行された「消防団支援法」で国・地方公共団体は、消防団員の処遇改善、装備の改

善について「必要な措置を講ずるものとする」と明記されている。これらを受けた今後の町の消防団に対する施策は。

（その他の質問）

町立小学校新校開校準備委員会の活動

町長 本町の団員報酬・手当の額は、財政状況を踏まえ、酒田地区広域行政組合消防本部所管内の酒田市・庄内町の報酬・手当の額を参考にしながら、消防団幹部会議等で協議した上で、特別職報酬等審議会、議会に諮り改正を行ってきた。

平成27年度に審議会に諮問したところ消防団員報酬については、現状維持が適当であるという答申を受けている。

しかしながら、近年では全国的に消防団員減少が進み、本町でも毎年減少している状況であることから、消防団員の待遇改善については、財政状況や近隣市町の状況を考慮し、手続きを踏みながら対応していきたい。

河原宿に避難小屋整備を



あべみつよし
阿部満吉
議員



関係者と協議を進め整備していく

鳥海山南側から登頂を目指す「滝の小屋登山口」を登り約1時間30分、月山森と頂上へ向かう分岐点となる河原宿は、登山者にとっては休憩場所や悪天候時の避難小屋になるほか、遭難救助の

ベースキャンプともなる。しかし老朽化から使えない状況が続いている。付近は雪渓も多く、濃霧で視界がきかないとコースを見失い、遭難事故も多い。

登山者を守るとともに、

町長 近年の登山ブームにより登山者が増えるとともに、天候急変にとともなう濃霧の発生で視界不良となり、コースを見失うケースが多くなっている。湯ノ台コースは登山道が大雪渓を横切するため、とりわけ濃霧発生の際に、リスクが高く、遭難・救助事案も毎年のように発生している。そのため河原宿への避難小屋整備の必要性については認識している。

町としては、令和4年度に基本設計費200万円を予定している。

現時点では避難小屋の仕様は検討に着手していないが、山岳公衆トイレが既に設置してあるので、風雨をしのげる避難小屋として整備したいと考えている。今後、山岳関係者等と十分協議を重ね、整備を進めていきたい。

山岳遭難救助の2次災害を防ぐためにも、早期の再建を願いたい。

（その他の質問）

鳥海山を守るには

岩石採取問題の抜本的解決を目指し 意見書・要望書を提出

臂曲地区の岩石採石問題は公害等調整委員会と法廷の場で審理が続いているが、抜本的解決のためには、採石法等の関係する法律を、時代に即して改正する必要もあると考えられる。

そのため、国の関係機関にあてて意見書を採択し、県の関係部局には要望書を提出した。

国の関係機関への意見書（要旨）

環境保全と調和のとれた岩石採取事業となるよう 採石法等の改正を求める意見書

平成28年に事業者が新たな岩石採取計画を提出しました。遊佐町では「遊佐町の健全な水循環を保全するための条例」に基づき、規制対象事業とする行政処分を行い、県はこの処分などをもとに新たな岩石採取計画を不認可とする処分を出しました。これに対して事業者が不服とし、公害等調整委員会や仙台高等裁判所で係属中です。この課題の抜本的解決には採石法、森林法等の改正・拡充が必要不可欠であると考えます。

例えば、採石法は戦後の復興期に作られたため、とりわけ環境保全に係る規定は脆弱です。また、森林法は都道府県知事の裁量権が十分に担保されているとは言い難いと考えます。

現在では開発行為において水循環をはじめとする環境保全に配慮することは当然であり、我が国全体の問題でもあります。

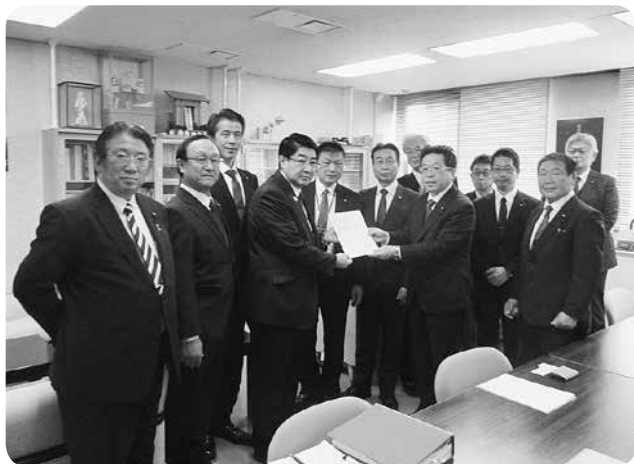
については時代に即し環境保全と調和のとれた岩石採取事業となるよう、次のように対応されるように強く要請します。

記

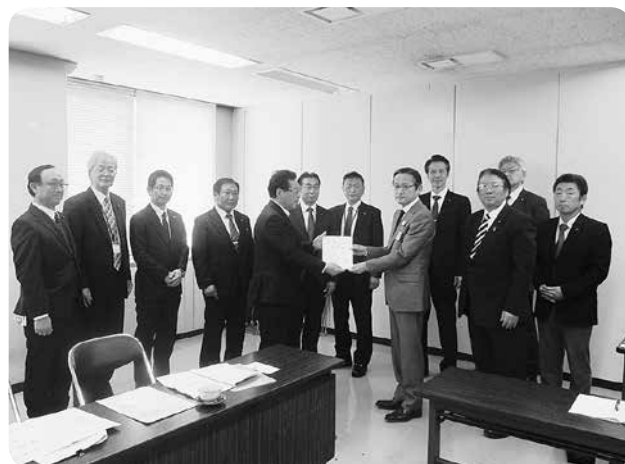
採石法・森林法等に、健全な水循環の保全等を含む環境保全の視点を取り入れ、時代に即した改正を行うこと。

県の関係部局に要望書を提出（令和2年3月27日）

- ①公害等調整委員会で県の不認可処分が認められるように引き続き万全の対応を。
- ②国に対して採石法等の改正を引き続きはたらきかけること。



商工労働部長へ



モリ
森林ノミクス推進課長へ

議会の情報通信活性化に関する調査特別委員会 調査中間報告

第532回定例会（令和元年9月）で設置された調査特別委員会では、小委員会5回、特別委員会3回を開催。付託された調査・研究事項について、議長へ中間報告を行った。



朝日町での視察（令和元年12月12日）

想定される導入の効果

- 資料やデータが瞬時に送受信可能に
会議資料等の事前送付が可能になることで、会議等での活発な議論につながる。
また、災害時には、現地情報を瞬時に、議員から執行部へ提供可能になる。
- 町民へ議員が説明をする資料として活用
町が定める各種計画書や予算書を、タブレット端末で説明でき、理解度を高めることにつながる。
- 議会内の事務の効率化
電子文書による情報通信により、事務局の書類作成、文書送付等の効率化を図ることができる。

導入時期と費用の見通し

- タブレット端末を使用した情報通信の導入時期
設備投資面等を考慮し、新庁舎の開庁時期を目途とする。
- 先進事例の調査を参考に継続して調査
契約（買取り、リース契約等）方法は、更新時のことを含め継続して調査を進める。

議会内の対応

- 研修会を適時に開催
タブレット端末操作には、一定の習熟期間が必要である。執行部との調整を行うとともに、会議システムを含めた研修を適時に開催する。

※「過疎対策法」では、町道や橋りょう、まちづくりセンター等の施設建設時、過疎債を使うことができ、過疎債は償還金の内70%が国から補てんされる

昭和45年に「^{*}過疎地域対策緊急措置法」（以下、「過疎対策法」）が制定されて以来、4次にわたり過疎地域の生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げてきた。現行の「過疎対策法」は令和3年3月をもって失効することから、過疎地域の多面的・公益的機能を今後も維持していくために、新たな「過疎対策法」の制定を強く要望するもので、審議の結果、全員賛成で可決し、衆参両院議長をはじめ関係機関に提出した。

新たな過疎対策法の
制定を要望
意見書を提出



委員長 齋藤 武
副委員長 本間 知広

GIGAスクール構想 小・中学校コンピュータ整備へ

令和元年度 補正予算審査特別委員会 3月4日

文部科学省のGIGAスクール構想を受け、2年後には学力テストがオンラインで実施が検討されていることから、タブレットの整備とともに、校内ネットワークを整備する。

補正のポイント

歳入

ふるさと納税寄附金
返礼率の改定で申し込み減 **-3000万円**

歳入

GIGAスクール構想補助金
2年後には学力テストをオンラインで実施
国が1/2補助 **2354万円**

歳出

6次産業化補助金
活性化拠点施設（旧八福神）に入居者
加工設備導入1/2補助 **150万円**

歳出

小学校コンピュータ整備
GIGAスクール構想で遊佐小学校に
ネットワーク整備 **1432万円**

歳出

中学校コンピュータ整備
GIGAスクール構想で中学校に
ネットワーク整備 **3276万円**

歳出

水循環保全事業
岩石採取訴訟、控訴審への準備等 **652万円**

現在の小学校の
整備も行うのか

菅原 和幸 委員

● 新学習指導要領の実施にともない、国から2分の1補助を受け、小・中学校それぞれでコンピュータ整備事業を計画している。

● 統合小中学校の開校準備を進めている中で、整備計画の詳細は。

教育課長

■ 今回の補正によるGIGAスクール構想における整備内容については、小中学校のネットワーク環境の整備を行うものである。

● これは、国が行う一斉学力調査を将来的にはパソコンを使って行うことやデジタル教科書の本格導入に備えるものであり、当町では小学校の統合後を見据えての整備であるため、小学校は遊佐小の分を計上している。

予算審査
一般質問
意見書
中間報告
補正予算審査
採決結果
議会運営
遊佐人
議会フイズ

電磁波による影響は

佐藤 光保 委員

● 小学校・中学校教育コンピュータ整備事業で、高速無線LANで発生する電磁波による児童・生徒の影響は心配ないのか。

教育課長

● 子どもたちが使うタブレット端末からアクセスポイントまでを無線LANで接続しているが、文科省では今回の整備に



電子黒板を活用した授業
(吹浦小学校)

よる電磁波の影響については言及していない。スマホのように人体に密着させて使用する場合と比べ、通信に使う電波の強さから考えても、それほど強い電磁波が発生しているとは考えにくい。

課・係を超えた連携を

赤塚 英一 委員

● ふるさと納税の減少への対応策として返礼品となる特産品の開発は必要と思う。

● 開発には現在取り組んでいる養殖のアワビなどをはじめ、課・係を超えた連携が必要なのは。

企画課長

〔答〕 返礼割合は3割以内とした国が定めた基準を遵守した上で、新たな返礼品の開発に取り組み必要がある認識している。販路開拓の一つとして養殖アワビを使った返礼品開発は大きな魅力があると思っている。どのような返礼品が好まれているかという調査も重要と思っており、関係課の連携を図っていきたい。

特産品開発の支援を

阿部 満吉 委員

〔問〕 6次産業化推進事業の新たな補助金は、旧八福神を利用しての加工所に入居する方だけを想定しているのか。

〔答〕 今後、特産品を開発する農業者、事業者全ての町民を対象とする事業を望む。

産業課長

〔問〕 6次産業化推進事業補助金は2種類で、一つは活性化拠点施設（旧八福神）内に特産品製造等

環境保全型農業 直接支払交付金減額

斎藤弥志夫 委員

〔問〕 特別栽培米の堆肥施用補助金の減額であるが、どんな状況か。

産業課長

〔答〕 環境保全型農業直接支払交付金を受けているのは、遊佐町開発米部会を含め4団体である。

予算編成時で1160haの計画であったが、実施されたのは1015haとなっている。



地域活性化拠点施設（旧八福神）

の機械設備等を整備する場合に補助するもの。

もう一つは農林水産物等を活用し、6次産業化に取組む町内の団体又は個人に対し、技術習得や資格取得する場合等に係る費用を補助するものであり、それぞれ上限額が設定されている。

24時間対応トイレは 誰のため

那須 正幸 委員

〔問〕 旧八福神の改修工事費は500万円の増額により4500万円を超える。

〔答〕 今回1階トイレを24時間対応するための工事が計画されているが、周知と空きスペースの今後の活用対策は。

産業課長

〔答〕 駐車場の一部は、災害時の非常駐車帯として利用できるよう、国交省と協定を結んでおり、以前からトイレの24時間対応の要望があった。

今後も共同加工施設の利便性向上を図りながら、周知を行う。空きスペースは、農業団体等による活用を含め、検討していく。

ふるさと納税 寄附減額の要因は

本間 知広 委員

〔問〕 ふるさと納税寄附金額が当初予算より大幅に減額になっているが、その要因は何か。

企画課長

〔答〕 先の12月定例会で、年末の寄附増を見込み2000万円の増額補正をしたが、申込状況を精査し今回減額することとした。返礼割合が3割以内となったことで、寄附を検討している方にお得感を感じてもらったことが原因の一つと思っている。

4月から楽天ポータルサイトについて、出店しやすい環境整備を図るべく準備を進めており、こうした取り組みによって



日赤バス

寄附額の増をめざしていきたい。

バスの更新中止 安全面は大丈夫か

佐藤俊太郎 委員

〔問〕 33万km走行した日赤バスの更新予定が取り消されている。

〔答〕 物品を大事に長く使用することは財政上重要だ。しかし、安全に運行する面での問題は無いのか。

総務課長

〔答〕 当初は年数的に買い替えという判断をして予算計上したが、再度業者と精査したところ、整備すればもう少し乗れる見込みであると判断し、720万円減額した。整備にかかる費用と、購入した場合の費用を検討し決定したが、町民の安全に支障がないように整備を徹底する。

3月定例会の議案内容（令和元年度一般会計補正予算他、33件）

議案番号	議案名	内容
議1～5号	令和元年度遊佐町一般会計補正予算、国民健康保険・地域集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療特別会計補正予算	P14～15に審議内容を掲載
議6～12号	令和2年度遊佐町一般会計予算、国民健康保険・公共下水道事業・地域集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計予算	P2～5に審議内容を掲載
議13号	町長等の損害賠償責任の一部を免責する条例の設定	法改正にともない、善意かつ重大な過失がないときは、町長以下役職員の損害賠償責任の一部を免責に
議14号	遊佐町中小企業・小規模企業振興条例の設定	中小企業の振興施策を総合的に推進し、地域経済、地域社会の発展、町民生活の向上を図るもの
議15号	遊佐町水難救護所設置条例を廃止する条例	地方公務員法の改正にともない、水難救護職員の身分が変更されたため、条例を廃止するもの
議16号	遊佐町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正	私立幼稚園就園奨励費交付要綱の廃止にともない、関係規定を整備するもの
議17号	遊佐町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正	情報通信利用の法改正にともない、デジタルシステムによる情報技術を利用するもの
議18号	遊佐町行政不服審査法施行条例の一部を改正	情報通信のデジタル化による字句の改正
議19号	遊佐町印鑑条例の一部を改正	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るもの
議20号	遊佐町監査委員条例の一部を改正	法改正にともない規定の整備を図るもの
議21号	遊佐町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正	情報通信のデジタル化による関係条項を整備するもの
議22号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正	県人事委員会勧告に準じ、職員の住居手当要件を改正するもの
議23号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正	会計年度任用職員制度の導入にともない、公務災害補償について規定するもの
議24号	遊佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	0～3歳児保育事業所の設備、運営に関する基準を定めるもの
議25号	遊佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	子ども・子育て支援法により、保育事業の運営に関する基準を整備するもの
議26号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正	災害援護資金の償還方法を年賦償還、貸付利率を一定の利率とし、保証人を不要とするもの
議27号	遊佐町営住宅条例の一部を改正	町営住宅の退所に際し、原状回復義務等整備するもの
議28号	遊佐町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正	法改正による条項を整備するもの
議29号	遊佐町固定資産評価審査委員会委員の選任	固定資産評価審査委員、佐藤克昭氏を再選するもの
議30号	財産の無償貸付け	金保地内町有倉庫を、農業振興施設として継続してJA庄内みどり農協に貸し付けるもの
議31号	白井・金保辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更	財政計画の変更により総合整備計画の一部を整備するもの
議32号	酒田市との庄内北部定住自立圏形成協定の変更	酒田市との庄内北部自立圏協定を実情に合わせ変更するもの
発議1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出	P13に内容を掲載
発議2号	環境保全と調和のとれた岩石採取事業となるよう採石法等の改正を求める意見書の提出	P12に意見書を掲載

3月臨時会【3月25日】の議案内容（事件案件1件、発議案件1件）

議案番号	議案名	内容
議33号	附帯控訴の提起	髻曲地区岩石採取に係る一審判決で町に求められた損失補償を不服とし、附帯して二審に控訴するもの P12に関連記事あり
発議3号	議員派遣	県へ採石法等の改正に関する要望書提出のため P12に関連記事あり

3月定例会 採決状況一覧 ○賛成 ×反対 議長（土門治明）は採決に加わらない

議案	議員名	本間 知広	那須 正幸	佐藤 俊太郎	佐藤 光保	齋藤 武	松永 裕美	菅原 和幸	赤塚 英一	阿部 満吉	高橋 冠治	斎藤 弥志夫	土門 治明	議決結果 (賛成：反対)
議1号～5号		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10：1)
議6号	一般会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10：1)
議7号	特別 会計	国民健康保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議8号		公共下水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議9号		地域集落排水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議10号		介護保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議11号		後期高齢者医療	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議12号	企業会計	水道会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議13号～議28号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議29号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意
議30号～議32号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
発議1号～発議2号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)

3月臨時会

議33号	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
発議3号	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10：0)

反対討論

令和2年度一般会計予算に反対
佐藤 光保 議員

新型コロナウイルスの発生で、学校も一斉休校になり登校再開が望まれるが、令和2年度に学校給食費の値上げが含まれることは、町民に寄り添う施策とは言えない。少数意見の表明も議員の努めと考え反対する。

3月定例会の傍聴者数

(単位：人)

日 程	内 容	男	女	計
3月3日(火)	本会議・補正予算上程	2	0	2
3月4日(水)	補正予算審査特別委員会・本会議	3	0	3
3月5日(木)	本会議・一般質問	6	1	7
3月6日(金)	本会議・一般質問・2年度予算上程	3	2	5
3月12日(木)	予算審査特別委員会	2	0	2
3月13日(金)	予算審査特別委員会・本会議	2	0	2
計		18	3	21

議会運営委員会
視察報告

令和2年2月4日～5日

■視察先及び目的
(1)岩手県大船渡市

災害時の議会の対応マニュアルの作成及び議員の行動指針について

■研修内容

災害対応指針
作成の経緯

岩手県大船渡市は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害に見舞われた。震災後に災害復興対策特別委員会を設置。議会機能強化部会において、議会としての災害対応指針の策定を進めた。

■議会の対応指針の特徴

発災後すぐに会議を設置開催できない状況も想定され、議員が各地域で情報収集と支援活動を行い、そこで得た情報や要望を議会で共有し、当局へ伝えることを目的とした。情報の一本化と行動の同一化を図ることで、迅速な対応を行うことを重視している。

■市議会防災訓練

過去の災害をもとに、災害対策会議の設置を発災1～3日後・5～10日後などと設定。災害状況を地図に書き込み、情報を一元化し議員は同一行動する。

他にも、AED操作などの救命講習、防災気象情報の活用を目的とした地方気象台による講習、防災行政無線の操作訓練

- その他視察先
(2)北日本水産株式会社
あわび養殖事業
- (3)秋田県横手市
議会における情報通信技術の活用方法



災害対応の説明を受ける
(大船渡市議会)

■視察を終えて

情報を共有し連絡を密にし、職員へ負担をかけないためにも、行動指針の作成は重要と考える。その指針をもとに定期的に訓練を行い、問題点の改善と執行部との連携の取り方を検討する必要性を感じた。

なども行っている。

シリーズ 遊佐人 1 Yuzajin

遊佐弁は地区によって趣が異なります。それぞれの遊佐弁で語る遊佐人に会いに行きます。
はじめに、6回にわたりまちづくり協議会を訪ねていきます。



“美しき童の里 高瀬” 未来図

美しき童の里 わらべ

高瀬まちづくりの会

高瀬の紹介

高瀬地区は、19の集落があり約670世帯が暮らしています。

高瀬の気質は一言でいうと「負けず嫌い」と「勤勉」です。この気質が古より多くの偉人を生み出してきました。

砂丘地に松の植林をした曾根原六蔵、三方国替え阻止に奔走した佐藤藤助、初代鉄道助佐藤政養、「田植え型」を発明した石川治兵衛、彦太郎糯」を育種した常田彦吉等々、枚挙に暇がありません。

高瀬八景

清流とみどりの高瀬のシンボルは、校歌でも歌われているとおり「東雲はゆる鳥海山」と「流れも清き高瀬川」です。その姿は四季折々に装いを変え、私たちの心を癒してくれます。その中から歴史的背景等地区住民の思いを込め選ばれたのが「高瀬八景」です。

- ① 劔龍神社の大鳥居
 - ② 下当土樋の清流
 - ③ 中山桜堤
 - ④ 升川河川公園
 - ⑤ 西鳥海橋から見た鳥海山の四季
 - ⑥ 白鳥公園すがさと
 - ⑦ 丸子観音森と鳥海山
 - ⑧ 美しき童の里
- これら八景は墨絵の会の方々の手により見事な

墨絵となり、高瀬まちづくりセンター2階講座室の襖絵として高瀬の宝になっっています。

昨年度、高瀬地区では「美しき童の里高瀬の未来」を作るためのまちづくり計画を策定しました。ワークショップと編集会議を経て、読みやすくわかりやすい絵本にしました。計画策定にあたり



高瀬八景 襖絵

結果した住民のパワーは何物にも代えがたい地区の宝だと思えます。

町に望むこと

令和5年には、丸子に高速のICができる予定です。これらのインフラを活かして、若者が定住できるような施策を打ち出していきたいと思えます。

また、地域自治の確立と活性化のため、地域活動交付金の見直し等一層の充実をお願いします。

議会に望むこと

なんといつても議会は言論の府、できれば本会議だけではなく各委員会のネット配信をしていただきたいと思えます。二元代表制の一翼を担う議会への住民の期待は大きいものがあります。今後の活躍を期待しています。

高瀬まちづくりの会

会長 佐藤 源市談



高瀬まちづくりの会 スタッフ

遊佐地区区長会主催の懇談会



令和2年2月6日、遊佐地区区長会主催で遊佐地区に住む議員との懇談会が開かれました。集落の区長をはじめ30名の参加があり、地域に密着した質問意見がありました。中でも話題となったのは「避難所と備蓄」で、地震や津波、洪水等災害によって避難所が異なることや、防災倉庫の備蓄品で行き渡るのかなど、活発な質問が交わされ、この時点で

は製作中だった「防災ガイドマップ」がもうすぐみなさんに届けられるでしょう。最後に、常任委員会管外視察レポート（議会だより第147号に記載）を読んだ視察の結果をどのように遊佐町に生かすかの考察がないとの厳しい意見をいただきました。

議会内部に留め置かず、町民と情報共有しまちづくりを生かすべきと考えます。

地区懇談会の報告や、管外視察レポートは議会事務局前の資料や議会ホームページに掲載しています。

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

議会クイズ

104



令和2年2月1日第147号の議会クイズには72名の方の応募があり、71名の方が正解でした。

抽選の結果次の10名の方が当選し、あほん入浴券（3枚）をお届けします。

答え ①B ②A ③C

- 伊藤 孝 勇（平津）
- 佐藤 正（下当）
- 坪井 千穂（滝ノ浦）
- 高橋 恒子（田地下）
- 佐藤 喬（出戸）
- 池田 智也（旭ヶ丘）
- 本間 清子（六日町）
- 仲野 実（和田）
- 小野寺 俊（駅前二）
- 池田 侑佳里（境田）

問題

①令和元年度の町内への移住実績は？

- A 3組3人
- B 13組31人
- C 23組32人

②環境保全型農業直接支払交付金を受けた水田面積は？

- A 1160 ha
- B 1015 ha
- C 1006 ha

③「丸子観音森と鳥海山」は何に選ばれた風景でしょうか？

- A 高瀬五景
- B 高瀬八景
- C 高瀬十景

応募方法

ハガキに答えの記号

（例①A ②B ③C）

それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。

（正解者の中から10名様にあほん券（3枚）をお届けします。

ご応募いただいた方の個人情報には、この議会クイズ以外の目的には使用しません）

☆ ハガキの余白に答えのほか議会への「要望、ご意見をいただければ大歓迎です。」

☆ あて先／999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 役場内 議会事務局 締め切り5月25日 発表は次号です。

◆編集室より◆

新1年生

世界的に猛威をふるう新型コロナウィルス。このタイミングで各学校の卒業式・入学式が出席者を縮小して執り行われました。

子どもたちの希望にあふれた入学式を、皆さんに伝えたくて、各学校に写真提供をお願いしました。

「こんなこともあったね」と言い合える日が早く訪れることを願って後書きとします。

次の定例会は

6月9日(火)から6月12日(金)の予定です。

発行人

議長 土門 治明

議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 満吉
- 副委員長 那須 正幸
- 委員 菅原 和幸
- 委員 齋藤 武
- 委員 佐藤 俊太郎
- 委員 本間 知広



遊佐中学校 1組



遊佐中学校 2組



遊佐中学校 3組

3月の定例会

平成9年度に迫る大型予算

.....〈2年度予算〉 P. 2

町の事業と課題を問う.....〈一般質問〉 P. 6

岩石採取問題 意見書・要望書を提出..... P.12

小・中学校コンピュータ整備へ.....〈補正予算〉 P.14

新シリーズ 遊佐人..... P.18

議会クイズ・編集室より..... P.19